

□ 要請番号 (JL01225A28)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィリピン	A204 防災・災害対策	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2



YouTubeチャンネル

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国家経済開発庁ボランティア調整局

2) 配属機関名 (日本語)

国立ドン・マリアノ・マルコス記念大学

3) 任地 (ラ・ウニオン州バクノタン町) JICA事務所の所在地 (マニラ首都圏マカティ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学は1960年に農業高校として設立、その後1974年に国立大学として認可されました。州内に3つのキャンパスを有し、敷地面積は1,120ヘクタールにも及びます。自然豊かな立地を生かした養蜂、養蚕、水産などの研究施設を有する他、情報工学、教育、工学部、農学部、アグロフォレストリー学部といった学部も設置されています。この広大な3つのキャンパスの学生ならびに地域住民の安全と秩序を守るため、2020年、災害危機軽減管理ユニットが設立されました。3つのキャンパスの学生数は約23,000名、スタッフ数は約1,800名の規模です。1980年代からこれまでに22名のJICA海外協力隊員派遣実績があります。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は1,120ヘクタールの敷地を有し、北部のキャンパスは山間部に位置しているほか、中央、南部のキャンパスは海拔が低く沿岸に近い立地であることから、自然災害が懸念される環境にあります(過去には、北部キャンパスの一部が土砂崩れ被害を受けた経緯あり)。そのような背景から、地域の災害危機軽減管理事務所とも協力し、大学災害危機軽減削減ユニットが設立されました。これまでに、災害リスクの評価、標準避難手順の作成、地震に備えた避難訓練、スタッフや学生への緊急時のトレーニングなどを実施してきましたが、さらに自然災害への備えを充実させるため、当要請に至りました。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚スタッフならびに3つのキャンパスの防災担当者と、下記の活動を行います。

1. これまで作成された災害リスク管理戦略やリスク評価、地域防災計画、避難計画の見直しのための支援
2. 防災担当者や職員、学生、地域住民を対象とした、避難訓練や、災害時訓練の策定支援、ならびに訓練の実施(応急手当訓練も含まれる)

3. キャンパスごとに想定される災害リスクに対応した、防災意識を高めるための啓発活動への支援
4. 緊急対応のために必要な機材選定へのアドバイスや、使用方法の訓練の実施
5. 必要に応じ、地域の災害危機軽減管理事務所主催の訓練に参加、大学関係者への訓練に応用することも期待される

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

無線機、PC等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
男性3名(30～40代、防災担当の経験は約10年)ならびに各キャンパスの防災担当者

活動対象者:
大学職員(約1,800名)、学生(23,000名)、地域住民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]： ()

[学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：活動に必要なため

[参考情報]：

- ・災害対策活動の運営・実施経験が必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(25～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(安定)

【特記事項】

学生を対象とした、文化交流イベントへの協力も期待されています。
最寄りの医療施設があるクラーク市までは、公共交通機関で4時間を要します。

【類似職種】